

「武蔵野夫人」(大岡昇平)のお鷹の道へ

日時:2015年2月28日(土) 天候:晴れ 約20000歩 12km

集合:JR国分寺駅北口 10時30分

コース:国分寺駅→日立中央研究所からの流れ→姿見の池・恋ヶ窪用水→鎌倉街道跡→国分尼寺跡・国分寺跡→お鷹の道・真姿の池湧水群→殿ヶ谷戸庭園(湧水)→新次郎池(湧水)→貫井神社→滄浪泉園→JR武蔵小金井駅(解散)

参加者:講師:山岡光治氏 吉越(L) 河野(SL) 班長=熊坂・草野・小島重

勅使河原 伊藤真 青松 深瀬 森川 井内 宮野 清水修 栗田 中川 市村 山下 中村ゆ 丹後 清水靖

平林勝 小島ま 塩川 橋本 /一般:下田 萩原 TWC=中嶋 小田 野口 計30名

以前から一度訪れてみたいと思っていた、お鷹の道ということで参加しました。朝は寒さを感じたものの昼近くには上着を脱ぐ人もいて、暖かな日差しの中でのウォークとなりました。私には日頃から馴染みのある多摩川ですが、今回はかつての古多摩川が刻んだ国分寺崖線を辿りながら、各所に点在する湧水群を歩きました。しかしその名称とは裏腹に、降った雨のせいか水面が濁っている池もありましたが、お鷹の道沿いは清水が流れていて風情有りました。閑静な住宅街には満開の紅梅や白梅が咲き誇り、また所々には河津桜も咲いていて目と足の両方で楽しめたコースでした。

<フォトレポート 小島重>



<殿ヶ谷戸庭園にて。暖かな日差しを浴びた皆さんの表情からも春が感じられます>



集合場所のJR国分寺駅改札前。



全員揃い、日当たりの良い南口側で山岡先生より説明が。



住宅の間を流れている野川の流れ。



ここからは先生の“独壇場”です。



跨線橋を渡ります。下には中央線と西武国分寺線が走っています。



日立中央研究所に沿って。



“青松組”にはマスクマンが・・・花粉症の時期です！



研究所敷地には泉がありますが普段は見られません。



姿見の池。遊女達が自らの姿を映して見たと云う言い伝えも。ただこの日は濁っていて、映る顔もそれ以上には...



武蔵野の林まで住宅が迫って...



家々の中の狭い道を歩きます。



武蔵台遺跡公園で小休止。縄文時代中期の住居遺跡跡だそうです。

縄文人は小柄だったようです。





鎌倉街道跡といわれる小道。いい雰囲気ですが・・・



当時の街道はこんなに混んでいた？



国分尼寺に着きましたが、案内板の汚れはどうも・・・



規則的に並ぶ礎石が往時を偲ばせます。



斜めに立つ幢竿(ドウカン)跡。



出土した礎石。



公園のように整備された尼寺跡。



武蔵国分寺跡。創建当時の僧寺跡です。



点在する礎石がその規模をあらわしています。



国分寺に入ります。移築された楼門と薬師堂。



白梅と紅梅の競演が見られました。



本日のメイン、お鷹の道です。清流沿いに遊歩道が整備され、多くの人が訪れる散策コースとなっています。



「おたカフェ」とは粋な名を付けたもの。



夏にはこの辺りはホタルが飛び交う場所。タニシとは懐かしい！

※お鷹の道:かつてこの辺りが、尾張徳川家の鷹狩場であったことから名づけられたといわれる。散策路沿いに流れる小川は小魚やホタルが生息している清水で、住宅の間の狭い小道のため「静かに！」の注意書きも立っている。



＜真姿の池で。水面には僅かに皆さんの姿が・・・他の人の迷惑になるので急いで撮りました＞

※真姿の池：絶世の美女と謳われた玉造小町は、皮膚の病に冒されその容色を失ったが、枕元に現れた童子に誘われてここで沐浴すると、七日目にして元の美しい姿を取り戻したという。でも女性陣の皆さんは元気なのでその心配はないですね。



小道沿いの農家では切り花販売も。



昼食は高台の公園で。広いので、皆さんが何処で食べているのか分からず。



風格ある農家の門です。風情がありますね。



食後は歩きも軽快？



野川の合流点、不動橋です。



ここから上り坂が続きます。



この看板、ニヤンとも…



殿ヶ谷戸庭園に入ります。



入り口にある箱庭。



押し合い？いえ、ゆったりです。



ここは旧岩崎別邸です。



駅近くの場所にも拘わらず緑豊かな公園。



散策路沿いに可愛い福寿草が。



園内は湧水にも恵まれています。



本日一番の上り坂？



ここで小休止。水分補給です。



ああ、疲れた～



「思いのまま」とは・・・粋な名ですね。



裏手には緑のコケが綺麗な鹿威しが・・・



途中の工事現場。地層が見られますね。



そろそろ足取りも重くなってきたようです。



見事な枝垂れ梅。



東京経済大学の新次郎池です。



ここから湧水が出ていました。



野川沿いに出できました。



川面ではカモ達が春を感じて動き回っています。



貫井神社に到着です。



じっと水面を見つめています・・・大丈夫でしょうか？



境内裏には湧水がありました。



椿が湧水に浮かんでいます。



ひょうたん池では亀が甲羅干し中。



野川への流れ込みを跨ぐ橋。味があります。



この付近には遺跡も。(平代坂遺跡)



最後は滄浪泉園に入ります。



この水琴窟は、離れていても音が聞こえますよ！



今から約300年前に祀られた「おだんご地蔵」。



滄浪泉園を出たら何故か足取りが早くなったようで…



武蔵小金井駅で解散。皆さんお疲れ様でした。



アフター組は、駅前のサイゼリアで。

※今日はお鷹の道を中心に、ハケの湧水群を巡り歩きましたが、旧多摩川の名残の野川に流れ込む湧水が、これだけ多くあるとは初めて知りました。この野川が二子玉川で多摩川本流と合流する場所では、子供の頃によく遊んだものですが、その源をこの歳になって訪ねられたことは感慨無量です。次回のハケの道も楽しみにになりました。

また今日は吉越しが所用があり途中で帰られたので、その後は河野さんがリーダーを務められました。各所での入園料でも機転の対応で、皆さんも大いに助かったことと思います。お世話になりました！

(私事ですが、途中でカメラを落し若干狂ってしまったようです。特に集合写真では思うように撮れておらず残念でした)